給 与 支 払 報 告 特 別 徴 収 に係る給与

古 に係る給与所得者異動届出書 収

※記載例 残税額を一括で納付する場合(一括徴収)

和 歌 山 県				(特 給別	氏名又	. は な		00株式会	社		(FIV	担		経理		年	特別徴場指定番号	1 7			
湯浅町長あて				与 支 払 者 者 者	住所又所在	在地					」町××番地		当	-	OO □□			指定番号	Q ΔΔΔΔΔ		
平成○○ 年 △△月 ×× 日 提出				$\overline{}$	個人番号又	ま法人番-	去人番号 〇 〇 (O	話	000 447	** 2222		宛名番号	7		
給	7 E	リカ・ナ	湯	과 知 浅 太郎	新姓			(ア) 削徴収税額 年税額)	徘	(イ) 徴収済税額	(ウ 未徴収 (ア)-	双税額	異動年	₣月日	異	動の事				1月1日以降退職時 までの給与支払額	
与所		年月日人番号	明·大 △ △ △	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7月	7 日生 △ △ △	┥			月分から 月分まで	11 5	月分から 月分まで	平成〇	「成 〇〇 年	(2) 3.	転勤退職死亡		 特別徴収継続 一括徴収 普通徴収 (本人が納付する) 		円	
得者	住所	1月1日 現 在 異動後	18 7	郑町大字青木 6	68番	地1	120), 000	5	円 0. 000	70. 00)0)0			4 5	5. 兄 電 4. 休 職 5. 長 欠 6. その他				控除社会保険料額 円	
□																					
新し	い給	与支払者									特別徴指定番	特 別 徴 収 指 定 番 号				左記特	左記特別徴収義務者へは月割額			円を	
(特別徴収義務者) 名 称											連 絡 先 『話 番 号							分から徴収す	- るよう連絡済です。		
© ;	給与等			った後の月割額(退耶	戦した月				欄に	必ず記載してくた	さい。		_								
_		- 括 徴 収 す る 場 合 1 異動の日が6月1日から12月31日までの間で				本人印 徴収予定月日			徴収予定額	後 収 (上記	徴収予定額合計(上記(ウ)と同額)				備	備		考			
	理			らの申出があったため。			湯浅	11月〇	日	70.000	円		円	左記の·	一括徴	収した税額は	た税額は 11		月分で納入します。(翌月10日納期限)		
括	由	2. 異動の日が1月1日から4月30日までの間で 特別徴収の継続の希望がないため。					Į,	月	日		刊 70	70. 000		左記の·	一括徴	収した税額は	した税額は		月分で納入します。(翌月10日納其		
徴		一括徴収しない場合																		_	
収	理																				

- 1. 異動者があった場合はすみやかに提出してください。
- 2. 退職の日が1月1日から4月30日まで間の方については、本人からの申出がない場合であっても、必ず未徴収税額を一括徴収してください。
- 3. 給与支払者(特別徴収義務者)が個人事業主の場合は、提出の際に個人番号の記入と併せて個人番号が確認できる証明書類及び身元確認書類が必要です。